

## 事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	湖北	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	滋賀県	対象市町村	彦根市ほか6市町
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林整備法人、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、琵琶湖を中心とした県の北部に位置し、県境を伊吹山地や野坂山地等により囲まれた盆地の地形となっている。気候は北陸・山陰型の日本海側気候である。</p> <p>本地区総面積 201 千 ha のうち、森林面積は、105 千 ha（森林率 52%）、対象民有林は、94 千 ha（森林全体の 90%）、うち人工林は 42 千 ha（人工林率 45%）となっている。</p> <p>また、スギ・ヒノキを主体とする人工林の齢級構成は、Ⅸ齢級の 5 千 ha（人工林の 14%）をピークに、主に間伐を必要とするⅦ齢級からⅩⅡ齢級が 27 千 ha で人工林の 64%を占めており、適切な森林整備が求められている。</p> <p>しかしながら、本地区の近年の森林・林業を取り巻く状況は、林業従事者の減少や高齢化、野生獣被害の発生、木材価格の低迷による林業採算性の低下、森林所有者の森林経営意欲の減退など極めて厳しく、荒廃した森林が見られるようになってきた。このままでは、水源涵養をはじめ森林の有する公益的機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念される。一方で木材の再生可能な資源としての重要性や地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源としての役割など、森林の有する多面的機能の発揮への期待も高まっている。</p> <p>本事業では、湖北地域森林環境保全整備事業計画に基づき、水源の涵養、県土の保全、地球温暖化防止など森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,116ha</p> <p style="padding-left: 20px;">人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐、森林作業道整備等</p> <p>総事業費：1,474,924 千円（税抜き 1,340,840 千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C = 5.70</math></p> <p>（総便益（B）＝ 8,550,688 千円、総費用（C）＝ 1,500,083 千円）</p>
評価結果	<p><b>必要性</b>：水源涵養等の公益的機能の維持増進や、森林資源の循環利用を進めていくため、適切な森林整備が求められており、森林資源も充実し木材生産の拡大への期待も高まっていることから、事業の必要性が認められる。</p> <p><b>効率性</b>：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、間伐などにおける施業の集約化、高性能林業機械の導入や森林作業道の整備など、森林施業の効率化による生産コストの縮減に取り組む計画となっており、事業の効率的が認められる。</p> <p><b>有効性</b>：本事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持・増進が図られ、搬出間伐により木材の安定供給も図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

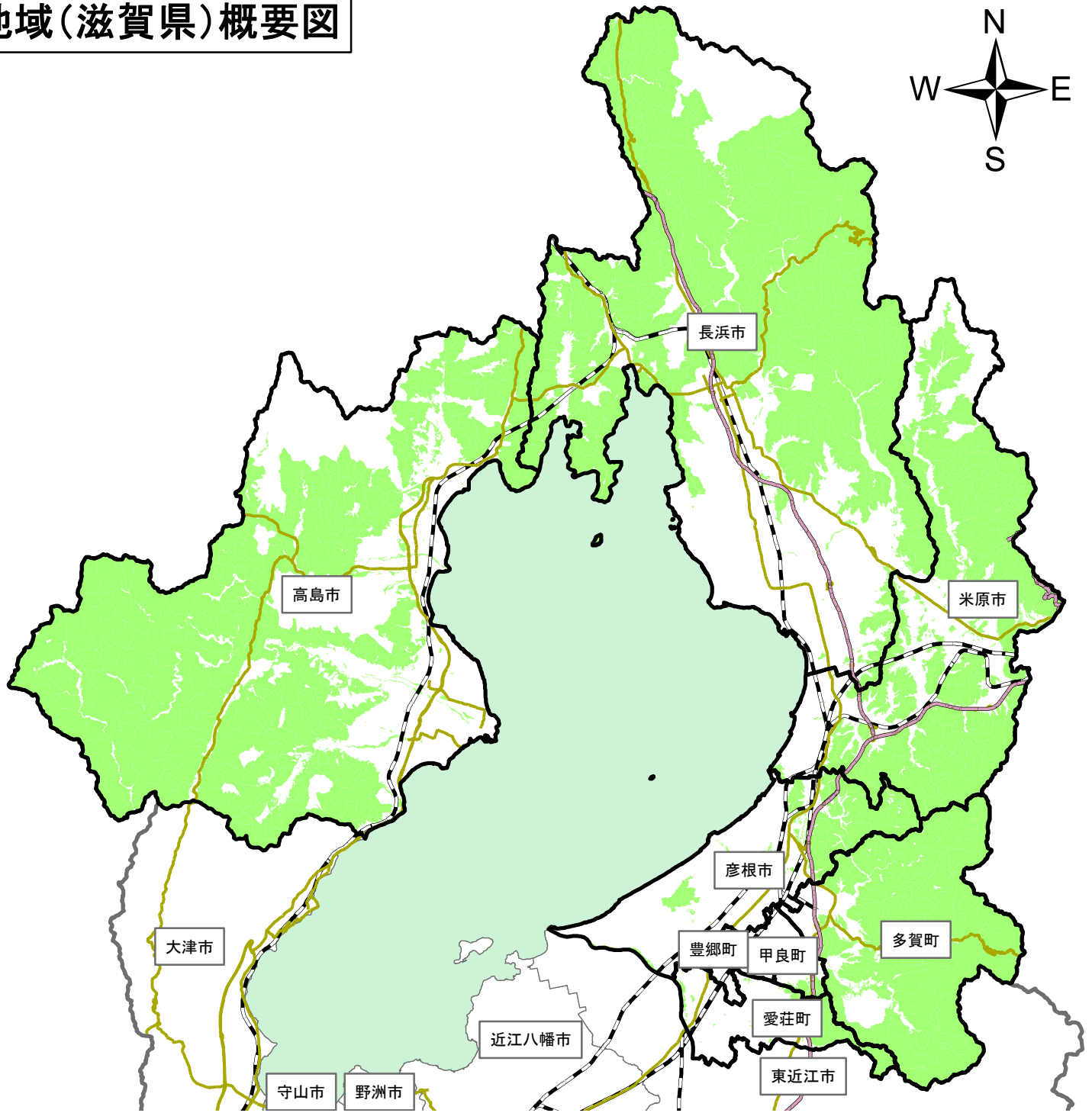
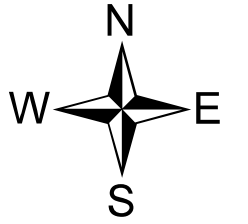
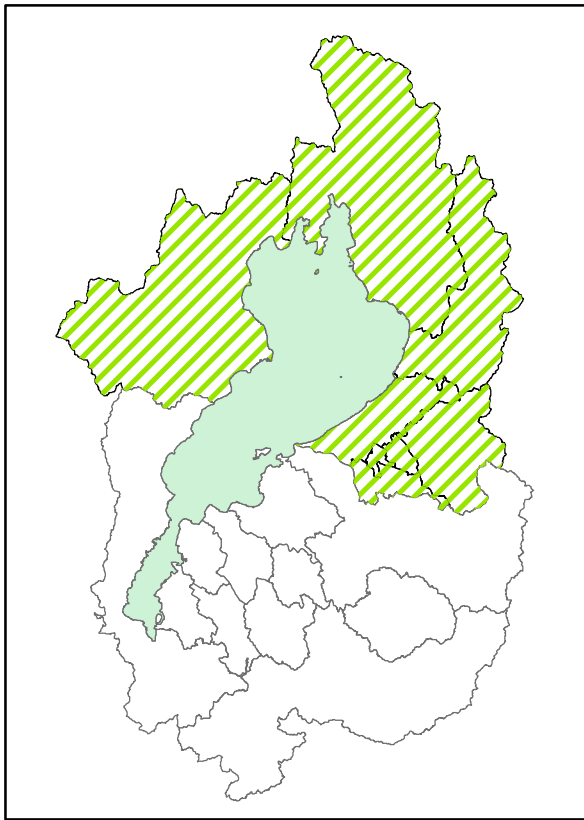
都道府県名：滋賀県

地域(地区)名：湖北<sup>こほく</sup>



(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,378,890	
	流域貯水便益	562,720	
	水質浄化便益	1,998,342	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,596,273	
環境保全便益	炭素固定便益	2,295,495	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	718,968	
総 便 益 (B)		8,550,688	
総 費 用 (C)		1,500,083	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,550,688}{1,500,083} = 5.70$		

# 森林環境保全整備事業 湖北地域(滋賀県)概要図



**凡例**

-  湖北計画区
-  森林整備